令和４年度
関東地方整備局　入札監視委員会第一部会第３回定例会議　審議概要

<table>
<tr><td colspan="2">開催日及び場所</td><td colspan="2">令和５年１月３０日（月）関東地方整備局　【Ｗｅｂ会議等】</td></tr>
<tr><td colspan="2">委　　員</td><td colspan="2">大野　由香子（慶應義塾大学　教授）
奥井　義昭　（埼玉大学大学院　教授）
奥原　玲子　（弁護士）
古賀　紀江　（関東学院大学　教授）
伊永　大輔　（東北大学大学院　教授）</td></tr>
<tr><td colspan="2">審議対象期間</td><td colspan="2">令和４年７月１日　～　令和４年９月３０日</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">審　議　案　件</td><td>総件数　　１０件</td><td rowspan="8">（備　考）
○工事・建設コンサルタント業務等の発注件数、入札結果の状況、指名停止等の運用状況及び談合情報の報告を行った。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">工事</td><td>一般競争（政府調達）</td><td>１件</td></tr>
<tr><td>一般競争（政府調達以外）</td><td>２件</td></tr>
<tr><td>工事希望型競争</td><td>０件</td></tr>
<tr><td>指名競争</td><td>２件</td></tr>
<tr><td>随意契約</td><td>１件</td></tr>
<tr><td colspan="2">建設コンサルタント業務等</td><td>３件</td></tr>
<tr><td colspan="2">物品・役務等</td><td>１件</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">委員からの意見・質問、それに対する説明・回答</td><td>意見・質問</td><td>説　明　・　回　答</td></tr>
<tr><td>別紙のとおり</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">委員会による意見の具申又は勧告の内容</td><td colspan="2">特になし</td></tr>
</table>

○問い合わせ先

さいたま市中央区新都心２番地１

さいたま新都心合同庁舎２号館　　電話　０４８－６０１－３１５１（代）

国土交通省関東地方整備局　入札監視委員会事務局

入札契約監査官　藤田　裕樹　（内線２２２０）

契約管理官　大柴　公彦　（内線２２２２）

技術開発調整官　石浜　康賢　（内線３１１３）

主任監査官　青木　均美　（内線２１１４）

意見・質問	説明・回答
〔報告事項〕 １．発注一覧 ・特になし ２．入札結果の事後的・統計的分析について ・特になし ３．指名停止等の運用状況 ・特になし ４．入札談合に関する情報等への対応状況 ・特になし 〔抽出案件の説明及び審議〕 １．一般競争入札方式（政府調達） 【Ｒ４荒川第二調節池排水門及び囲繞堤新設工事】一般土木　本官	
・無効になっている者が非常に多い。低入札の為ということだが、実際いくらで入札されたか。また、基準価格はいくらだったか教えてほしい。	・調査基準価格は4,940,050千円で、無効になっている者はその価格以下ということで、個々の金額は後ほど説明したい。　←　後日データを送付。
・飛島建設（株）の金額は調査基準価格を少し上回っている金額であり、調査基準価格が高かったのではとの印象である。競争性の確保を優先し、調査基準価格それ自体を下げるという考えはないか。	・調査基準価格の設定については、全国一律に国土交通本省で工種ごとに定めており、関東地整独自で定めているものではない。よって、地方整備局の判断で下げることは難しい。ご意見のあったことは本省に伝えていく。 ・補足させて頂くと、調査基準価格は、直接工事費、いわゆる材料費等に関わる部分は0.97と高く設定されている。一方で各者の企業努力が反映できる一般管理費等は0.68と設定されており、それらを組み合わせて設定している。各工事をみてみると0.75から0.92となり、工事ごとに違いもあり、一律には定められておらず、品質が確保される形で設定されている。
・調査基準価格の設定に裁量があまりないことは了解した。裁量の範囲で競争が働く設定をすることがまずは重要だろう。ところで、低入札時に資料を提出すれば入札対象になるのに、資料提出し得ない状況だったのだろうか。つまり、「根拠のない数字を適当に書いて出した。」のか、あるいは、前回様々な委員からもご指摘のあった「資料提出が非常に負担であり、過剰な負担のために提出しない。」のか。そのあたり実態を教えてほしい。	・工事によって色々なパターンがある。大きな工事はそれなりに積み上げて提出したり、小さい工事は今までの経験からこれくらいと積んでいる場合もある。今回の工事は人気もあり、多くの業者が応札するとの判断があったのではと推察するが、各者の考えもあるので詳細は分かりかねる。

意見・質問	説明・回答
・予定価格決定の妥当性について教えて頂きたい。	・工事発注については、設計コンサルタントに設計委託をかけ工法・数量を算出してもらう。その工法・数量に対して、国土交通省で定めた標準積算基準等に基づき、積算を行っている。また、その歩掛・単価の決定については前年度、全国的に調査を実施している。
・予定価格決定の妥当性が、リアルに解るような方法があればよいと思った。説明を聞いているともっともだと思うが、妥当性がクリアでないように感じた。	
２．一般競争入札方式（政府調達以外） 【Ｒ４国道１７号新大宮上尾道路堤崎地区外改良その１工事】一般土木	
・高落札は現場管理費が削減できなかったことによるとのことだが、入札額が予定価格ぎりぎりまで達しているという印象を受ける。	・本工事は、現道の切り廻しのための拡幅整備をするもので、工事の時間帯も夜間で交通規制を伴うものであり、必要に応じて既存施設の移設等が発生するなど、施工条件が厳しい現場であると考えており、当該者の入札において現場管理費の削減が困難であったことについては、一定程度の理解ができるものと考えている。
・1者辞退により入札者が1者になったとのことだが、前回の定例会で他者は辞退を知り得る状況にないと伺ったが、今回も残る1者は他者の辞退を知り得ない状況で能力最大限の価格で入札したということか。	・競争参加者は他者の参加状況や辞退の有無を知り得ない状況で入札している。
３．一般競争入札方式（政府調達以外） 【Ｒ４圏央道高第二橋外上部工事】鋼橋上部	
・高落札率となっている。現場条件により現場管理費が削減できないとのことだが、具体的に説明してほしい。	・1橋あたりの鋼材重量が小さいこと、2橋のため、現場管理費が嵩みやすいこと、供用中の圏央道に近接しての施工のため、現場管理費を削減できなかったのではと推察している。
・やむを得ない部分もあるが、資格要件を絞り込み過ぎたのではないか。求めている施工実績について、今後同種工事があった場合、次回以降拡大することは可能なのか教えてほしい。	・通常はクレーン架設であるが、現場の施工状況を考慮すると、送り出し架設は難易度が高いが、資格要件として外すことはできないと考えている。
【審議案件総括】 ・委員の方々から貴重な意見がでたので、これからも建設的な意見をもらい、発注者におかれては参考にして頂きたい。	

意見・質問	説明・回答
４．一般競争入札方式（政府調達以外） 【真岡公共職業安定所（２２）建築改修その他工事】建築	
・高落札99.19％となっているが、よくあることか。	・参加者数が少ない場合、落札率は変動しやすいものと認識している。本工事では、落札者以外の応札率がそれぞれ95.4％、102.7％、103.2％であったところ、加算点を合わせた結果、価格順位が1位であった者と2位であった者が入れ替わり、結果として高落札率（99.19％）となった。
５．指名競争 【朝霞税務署（２２）電気設備改修工事】電気設備	
・落札率が99.56％と高くなった要因は何か。	・本工事は、1回目入札では1者辞退、1者無効、1者予定価格超過となり予定価格を下回る者がおらず、その後2回目入札で落札決定となっている。（有）ケイアンドアイの工事費内訳書を確認したところ、受変電設備機器に関する見積りによる項目が多いため、結果として高落札率になったものと推察される。
・1回目入札で無効となった者であっても2回目入札に参加してもよいのではないか。2回目の入札への参加資格も失うことになっているのはなぜか教えてほしい。	・1回目の入札が低入札であり、施工体制審査のための追加資料の提出を求めたが、資料の提出がなかった。そのため無効となり、2回目入札には参加できない。
・調査基準価格より低い金額で入札し、追加の資料提出が出来なかったので1回目入札が無効となった点は理解できるが、2回目入札に参加出来ない理由を教えてほしい。	・追加資料を提出されなかった時点で、入札辞退扱いとなるため、2回目入札はできない。
・無効が辞退と同じ扱いになっているのなら違う扱いとしたほうがよいのではないか。2回目入札に移行した段階ではむしろ調査基準価格より低い金額で入札した者のほうが予定価格内で落札する可能性があったものと思われる。2回目の入札の際には1回目入札時よりも高い金額を入れることが考えられるので、競争相手を減らすより2回目入札時もチャンスを与えた方が合理的な制度になるのではないか。	・ご提案いただいた内容について、本省を含めて議論したい。1回目入札時より高い金額で入札されることが予想される一方で、何の障害もなく2回目、3回目の入札に進めてしまうとモラルハザードの面でもあるのでしっかり議論したい。

意見・質問	説明・回答
６．随意契約 【千葉港湾合同庁舎（２２）建築改修その他工事】建築	
・受注意思確認グループはどうのように分けたのか。	・不調になった工事と同様の等級区分、地域要件、工事要件などシステムにより467者を選定。地域要件の4条件(工事場所の市町村に本店（本社）、工事場所に隣接する市町村に本店（本社）、工事場所の県内に本店（本社）、工事場所の市町村に支店又は営業所がある。）により98者を選定。98者のうち工事成績、優良工事表彰などを点数化し、点数上位の77者を第一グループ、その次の21者を第二グループ、それ以外の378者を第3グループとして分けている。
・第一グループの目安者数はあるのか。	・通常は50者程度を第一グループとしている。今回は公共工事に興味を持ってもらえるか不安があったことと過去の3回は参加者が少なかったことから、通常より多めの77者とした。
・第一グループで受注意思がある企業を確保できれば第二グループには意思確認しないシステムでよろしいか。	・第一グループに意思確認を行い、受注意思表明者が2者以上確保できない場合は、第二グループに意思確認を行うこととなるが、今回は、第一グループで2者以上の意思確認があったので第一グループで終了した。
【審議案件総括】 ・委員の方々から貴重なご意見、ご提案がありましたので、これからも建設的な意見をもらい、発注者におかれては参考にして頂きたい。	
７．簡易公募型競争入札方式（総合評価） 【Ｒ４関東ＭＣ道路管理データ作成更新業務】土木コンサル	
・この事業自体は継続して行われていたと思うが、前回はどの企業が受注したか、また、この金額が妥当なのか、本題ではないかもしれないが、参考までに教えて頂きたい。	・道路管理データベースについては、平成12、13年頃から各地方整備局で運用を開始してきた。当時は（財）道路保全センターが作成したシステムで各地方整備局がそれぞれ発注し、納められたデータベースシステムとなっている。毎年、工事の完成図のデータを基に或いは専用の入力様式に各事務所が整理して入力・更新の業務を行っていた。金額に関しては、現在道路工事の完成図データが年間200～300件電子納品されており、そのデータを更新データに直す作業と諸元データを図面を見てチェックし直す作業があり、当然技術者でないと出来ない作業内容となっている。これらの作業は、図面チェックに時間と手間の掛かる業務のため、見積りを徴して行っており、過去の契約金額も同程度であることから、適正な契約金額であると考えている。

意見・質問	説明・回答
・各地方整備局がやっていたことで、委託をしていなかったと言うことか。	・関東地方整備局のデータベースで関東地方整備局自らが更新しているものであり、更新のための業務を平成13年頃から継続して発注している。
・昨年と同じ業者か。	・同じ業者である。
・高落札率とか、1者入札とかに関して、あまり気持ちのいい感じはないと考えた。そういう考えが払拭されるようなあり方を考えるべきではないか。	・今後は、完成図書データをデータベースに振り替える業務自体を効率化するためDX化と言いますかシステムで自動的に変換できるような更新作業システムを構築していきたいと思っている。そうするとこの業務のほとんどがシステム処理することが可能となり、人が行う作業が減っていくと思うので、データ更新作業自体が効率化されると考えている。
・全くそのとおりだと思う。是非宜しくお願いしたい。	
８．簡易公募型競争入札方式（総合評価） 【Ｒ４路面下空洞探査業務】土木コンサル	
・落札者は地中探査技術の開発から携わってきた者と思われるが、開発に携わっていない者も業務に参加できる資格要件の見直しを検討されてはどうか。	・地中探査技術が開発された当時は、狭い分野で開発されていたが、昨今、民間企業による技術開発が進んでいる。平成29年度に新技術活用システムのテーマ認定型で技術公募したところ、10者の応募があり、現時点においては空洞探査の対応が可能な参加者は多数存在している。
・入札参加資格要件で同種業務・類似業務の実績がある者は結構あるのか。	・本業務の要件でも同種業務で15者、類似業務で26者が要件を満たしていることを確認している。
９．簡易公募型プロポーザル 【Ｒ４崩壊性地すべりの発生条件に関する検討業務】土木コンサル ・特になし	
【審議案件総括】 ・委員の皆様から、貴重なご意見があった。これからも建設的なご意見をお願いしたい。	

意見・質問	説明・回答
１０．一般競争 【神奈川県横浜市における令和４年度効率的手法導入推進基本調査業務】役務の提供等	
・昨年度はどの業者が落札したか。	・今年度と同じ業者であるが、昨年は2者参加があった。 ・本業務は、令和2年度から効率的手法ということで始めているが、令和2年度と昨年度は落札率は8割程度だった。今年度は発注時期の遅れもあり、周知期間が短かったこともあって、昨年落札した者と同じになり、高落札になったと推測している。
・対象業者も多くあるので、競争が保たれるように配慮いただきたい。	・承知した。
【全体を通して】 ・特段の意見具申はなし。	

【工事】

入札方式	工　事　名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額	落札率	備考
							(単位:千円)	(単位：%)	
一般競争（WTO）	Ｒ４荒川第二調節池排水門及び囲繞堤新設工事	一般土木	13	12	令和4年9月30日	飛島建設（株）	5,436,200	92.04%	
一般競争	Ｒ４国道１７号新大宮上尾道路堤崎地区外改良その１工事	一般土木	2	1	令和4年7月12日	常盤工業（株）	225,390	99.74%	
一般競争	Ｒ４圏央道高第二橋外上部工事	鋼橋上部	1	1	令和4年8月31日	東綱橋梁（株）	428,890	97.95%	
一般競争	真岡公共職業安定所（２２）建築改修その他工事	建築	4	4	令和4年9月20日	磯部建設（株）	62,920	99.19%	

入札方式	工　事　名	工事種別	指名業者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額	落札率	備考
							(単位:千円)	(単位：%)	
指名競争	朝霞税務署（２２）電気設備改修工事	電気設備	3	2	令和4年7月12日	（有）ケイアンドアイ	35,200	99.56%	

入札方式	工　事　名	工事種別	契約締結日	契約の相手方	契約金額	落札率	備考
					(単位:千円)	(単位：%)	
随意契約	千葉港湾合同庁舎（２２）建築改修その他工事	建築	令和4年7月29日	（株）笹原工務店	42,680	72.69%	

【コンサル】

入札方式	業　務　名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額	落札率	備考
							(単位:千円)	(単位：%)	
簡易公募型競争（総合評価）	Ｒ４関東ＭＣ道路管理データ作成更新業務	土木コンサル	1	1	令和4年8月12日	（株）長大	89,100	98.32%	
簡易公募型競争（総合評価）	Ｒ４路面下空洞探査業務	土木コンサル	2	1	令和4年7月7日	ジオ・サーチ（株）	291,500	97.23%	

入札方式	業　務　名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額	落札率	備考
							(単位:千円)	(単位：%)	
簡易公募型プロポーザル	Ｒ４崩壊性地すべりの発生条件に関する検討業務	土木コンサル	1	1	令和4年8月1日	日本工営（株）	29,997	100.00%	

【物品・役務等】

入札方式	業　務　名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額	落札率	備考
							(単位:千円)	(単位：%)	
一般競争	神奈川県横浜市における令和４年度効率的手法導入推進基本調査業務	役務の提供等	1	1	令和4年7月28日	アジア航測（株）	20,460	99.73%	